

令和5年3月14日

教育委員会からの提言

『4月から、マスクをするかしないかは、自由です』

島田市教育委員会 教育長 山中央章

学校では、今まで約3年間、新型コロナウイルス感染症対策のために、マスク着用が推奨され、様々な場面で多くの方がマスクを着用してきました。

日本国内では、3月13日以降は、マスクをするかしないかは、個人の判断となりました。学校では、まず、卒業式において児童生徒と教職員はマスクを外すことを基本とするという通知がきています。4月からのマスク着用については、個人の判断となります。学校の中でのマスク着用について家庭で話し合ってみましょう。

学校におけるマスクの着用について、下記のように提言します。

記

☆ 4月からの学校生活において、マスクをするかしないかは、自由です。個人の判断に任せます。

○政府は、学校において4月1日以降、児童生徒へのマスク着用については、求めないこととする。特に、一定の配慮が必要な児童生徒がいる場合は、必要に応じて対応する。基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望し、また、健康上の理由によりマスクを着用できない児童生徒もいることなどから、学校や教職員がマスクの着脱を強いることのないようにすること。また、児童生徒の間でもマスクの着用の有無による差別・偏見等がないよう適切に指導を行うことを示しています。